

福祉サービス第三者評価結果報告書(公表用)

【受審事業所情報】

事業所名称	いぶきの保育園
運営法人名称	和泉福祉会
福祉サービスの種別	保育所
代表者氏名	理事長 葛城 好隆 園長 野田 紀子
定員（利用人数）	150名 （ 181名 ）
事業所所在地	〒 594-0041 大阪府和泉市いぶき野5-5-5
電話番号	(0725) 50-4000
FAX番号	(0725) 50-4411
ホームページアドレス	http://www.ibukinohoikuen.jp/
電子メールアドレス	katuragi@ibukinohoikuen.jp

【評価機関情報】

【評価機関情報】

第三者評価機関名	大阪府社会福祉協議会 福祉サービス第三者評価センター	
大阪府認証番号	270002	
評価実施期間	平成23年9月26日～平成24年1月17日	
評価結果決定年月日	平成24年1月17日	
評価調査者氏名（役割）	1001C021 運営管理委員	()
	1001C020 (専門職委員)	()
	()	()
	()	()

【評価結果公表に関する事業所の同意の有無】

評価結果公表に関する 事業所の同意の有無	☒ 有 ・ 無
-------------------------	--

第三者評価結果の概要

評価機関総合コメント

和泉福社会が市内で2園目の保育園として平成19年に開園した保育園です。最寄駅から徒歩10分圏内に立地しており、広い園庭と清潔感のある広々とした保育室が整備されています。駐車スペースが多く用意されるなど、利用者の利便性にも配慮がみられます。

園長のリーダーシップのもと職員全体で日々の保育が見直され、質の向上に向けて取り組んでいます。職員がいきいきとした挨拶をし、はつらつとしている姿が印象的でした。日常の保育においては様々なカリキュラムが用意され、多方面における体験の場が子どもたちに提供されています。

特に評価の高い点

地域の子育て支援に積極的

「信頼・愛情・誠実」の理念に基づき、赤ちゃんを対象とした講座（地域ボランティアによるベビーマッサージ等）や育児相談等の活動が行われるとともに、大阪府認定の育児相談員・地域貢献支援員（スマイルサポーター）の増員を計画するなど、地域子育ての中心的存在となるべく子育て支援に積極的に取り組まれています。

様々な表現活動の場の提供

0歳から5歳までの系統的な絵画造形活動が行われています。保育士を対象に外部講師による絵画造形の研修が新任時より継続的に行われ、活動を通じて子どもたち一人ひとりの表現力や自発性を育てることが明確に理解された上で取り組まれています。

改善を求められる点

保育マニュアルの見直し

個々の保育場面における標準的な実施方法（保育マニュアル）の見直しを重ね、内容を充実させることにより、組織の体制をより細かく整えることが望まれます。

PDCAのマネジメントサイクルの確立

自己評価等を恒常的に行い、PDCA（Plan：計画 Do：実行 Check：見直し Act：改善）サイクルを確立することが求められます。

第三者評価に対する事業者のコメント

園で取り組んでいること、また取り組んできたことが目指すべき方向なのか？今後の改善策はどのようなところにあるのか？を客観的に捉えていくことを目的として公平に精査していただける大阪府社会福祉協議会福祉サービス第三者評価センターにお願いしました。

いぶきの保育園は開園5年目です。受審に対しては今までの取り組みの評価ということで、期待と不安が入り混じる中、職員と時間をかけて一つひとつの領域を検討し自己評価を行い見直しすることでより一層、思いを共有確認できました。

実施していることでも文書化されていなかったり、就業規則に記載されていなかったりで評価していただけないところもありました。不十分な点は工夫改善し、よい評価をいただいた点はより自信を持って質を下げないように充実させ、利用者の方に満足していただけるようにしていきたいと思っています。

保育内容について高い評価をいただきましたので、より一層質の高い幼児教育、保育、保育士の人間性と専門性の向上に努めます。

保護者のアンケート結果としまして、開園5年目ということでまだまだ改善していく点が多い中ですが、私達の日頃の取り組んできた努力を評価していただいた意見をたくさんいただきました。職員のモチベーションも向上することと思います。またしかし、十分にコミュニケーションをとってご理解していただく点もみられます。努力していきたいと思えます。

受審により課題が明確化しましたので、今後の保育園運営に活用していきます。これからも地域の育児支援に力を入れて「地域から望まれる」「信頼してもらえる」「地域に根ざした保育園」を目指していきます。

いぶきの保育園 野田 紀子

評価細目の第三者評価結果

児童福祉分野の評価基準

判 断 基 準 項 目	評価結果
評価対象Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織	
Ⅰ-1 理念・基本方針	
Ⅰ-1-(1) 理念、基本方針が確立されている。	
Ⅰ-1-(1)-① 理念が明文化されている。	a
Ⅰ-1-(1)-② 理念に基づく基本方針が明文化されている。	a
Ⅰ-1-(2) 理念や基本方針が周知されている。	
Ⅰ-1-(2)-① 理念や基本方針が職員に周知されている。	a
Ⅰ-1-(2)-② 理念や基本方針が利用者等に周知されている。	a

評価機関コメント

理念や基本方針が玄関スペースに掲示されています。基本方針は理念との整合性が確保され、利用者に対してはホームページやDVDなどで理解しやすい工夫がされ、周知を図っています。また、職員に関しても会議や園内研修において継続的な仕組みが実践されています。

Ⅰ-2 計画の策定	
Ⅰ-2-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	
Ⅰ-2-(1)-① 中・長期計画が策定されている。	a
Ⅰ-2-(1)-② 中・長期計画を踏まえた事業計画が策定されている。	a
Ⅰ-2-(2) 計画が適切に策定されている。	
Ⅰ-2-(2)-① 計画の策定が組織的に行われている。	b
Ⅰ-2-(2)-② 計画が職員や利用者に周知されている。	a

評価機関コメント

理念や基本方針の実現に向けた具体的な目標や展望が、中長期計画に明確化されています。また、事業計画が職員や保護者に理解しやすい工夫がされており、保護者にも周知されています。今後は、事業計画の策定及び見直しを、定められた時期と手順に基づいて職員全体で行うことが望まれます。

I - 3 管理者の責任とリーダーシップ		
I - 3 -(1) 管理者の責任が明確にされている。		
I - 3 -(1)-①	管理者自らの役割と責任を職員に対して表明している。	a
I - 3 -(1)-②	遵守すべき法令等を正しく理解するための取り組みを行っている。	b
I - 3 -(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		
I - 3 -(2)-①	質の向上に意欲を持ちその取り組みに指導力を発揮している。	a
I - 3 -(2)-②	経営や業務の効率化と改善に向けた取り組みに指導力を発揮している。	a

評価機関コメント

園長は自らの役割と責任について利用者や職員に表明しています。また、経営や業務の効率化と改善のために職員とコミュニケーションを積極的に図るなど、日頃から指導力を発揮されていますが、今後は業務（職務）分担を文書にて明確化することが期待されます。また、遵守すべき法令等のリスト化が望まれます。

評価対象Ⅱ 組織の運営管理

Ⅱ-1 経営状況の把握		
Ⅱ-1-(1) 経営環境の変化等に対応している。		
Ⅱ-1-(1)-①	事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	a
Ⅱ-1-(1)-②	経営状況を分析して改善すべき課題を発見する取り組みを行っている。	a
Ⅱ-1-(1)-③	外部監査が実施されている。	b

評価機関コメント

行政や園長会から、地域の動向について情報の収集が行われ、それらの情報を分析した結果が中長期計画や事業計画に反映されています。また、改善すべき課題についても職員に周知しています。法人内で経営分析が行われていますが、今後は公認会計士等の監査法人による外部監査の実施が望まれます。

Ⅱ-2 人材の確保・養成

Ⅱ-2-(1) 人事管理の体制が整備されている。		
Ⅱ-2-(1)-①	必要な人材に関する具体的なプランが確立している。	a
Ⅱ-2-(1)-②	人事考課が客観的な基準に基づいて行われている。	a
Ⅱ-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		
Ⅱ-2-(2)-①	職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	a
Ⅱ-2-(2)-②	福利厚生事業に積極的に取り組んでいる。	a
Ⅱ-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		
Ⅱ-2-(3)-①	職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	a
Ⅱ-2-(3)-②	個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取り組みが行われている。	a
Ⅱ-2-(3)-③	定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	b
Ⅱ-2-(4) 実習生の受け入れが適切に行われている。		
Ⅱ-2-(4)-①	実習生の受け入れに対する基本的な姿勢を明確にし体制を整備している。	a
Ⅱ-2-(4)-②	実習生の育成について積極的な取り組みを行っている。	a

評価機関コメント

法人内で人事考課制度が整備され、いぶきの保育園においても実施されており、職員の質の向上を図っています。また、職員の意見・意向の収集や就業状況等が把握され、必要があれば改善策が検討される仕組みがあります。実習生の受け入れにおいては養成校と実習内容についてプログラムが整備され、継続的な連携を維持していく工夫が図られるなど、実習生の育成について積極的に取り組まれています。

Ⅱ-3 安全管理

Ⅱ-3-(1) 利用者の安全を確保するための取り組みが行われている。

Ⅱ-3-(1)-①	緊急時（事故、感染症の発生時など）の対応など利用者の安全確保のための体制が整備されている。	a
Ⅱ-3-(1)-②	利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。	a

評価機関コメント

事故発生対応のマニュアルが各種整備され、会議等で周知されています。事故防止のチェックリストが活用され、子どもの安全確保の取り組みが積極的に行われています。また、収集された事例が会議で報告され未然防止策が検討されています。

Ⅱ-4 地域との交流と連携

Ⅱ-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。

Ⅱ-4-(1)-①	利用者と地域とのかかわりを大切にしている。	a
Ⅱ-4-(1)-②	事業所が有する機能を地域に還元している。	a
Ⅱ-4-(1)-③	ボランティア受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	a

Ⅱ-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。

Ⅱ-4-(2)-①	必要な社会資源を明確にしている。	a
Ⅱ-4-(2)-②	関係機関等との連携が適切に行われている。	a

Ⅱ-4-(3) 地域の福祉向上のための取り組みを行っている。

Ⅱ-4-(3)-①	地域の福祉ニーズを把握している。	a
Ⅱ-4-(3)-②	地域の福祉ニーズに基づく事業・活動が行われている。	a

評価機関コメント

ホームページやパンフレットで保育園の情報が地域に向けて提供されています。また、地域ボランティアによる育児講座が開催され、地域住民が自由に参加できる多様な活動が行われています。スマイルサポーターを地域に浸透させるために増員を図るなど、福祉全般におけるニーズに基づいた活動が行われています。

評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。

Ⅲ-1-(1)-①	利用者を尊重したサービス提供について共通の理解をもつための取り組みを行っている。	a
Ⅲ-1-(1)-②	利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	a

Ⅲ-1-(2) 利用者満足の向上に努めている。

Ⅲ-1-(2)-①	利用者満足の向上を意図した仕組みを整備している。	a
Ⅲ-1-(2)-②	利用者満足の向上に向けた取り組みを行っている。	a

Ⅲ-1-(3) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。

Ⅲ-1-(3)-①	利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備している。	a
Ⅲ-1-(3)-②	苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。	a
Ⅲ-1-(3)-③	利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	b

評価機関コメント

利用者から理念に掲げる「信頼」を得るために、会議や園内研修において組織全体で利用者満足の向上に向けた取り組みが図られています。また、利用者の意向を汲み取る環境や体制が整備され、園長、主任、担任の間でその内容は早々に検討し、事業に反映させています。今後は保護者の意見や提案に関する対応マニュアルの定期的な見直しが期待されます。

Ⅲ-2 サービスの質の確保

Ⅲ-2-(1) 質の向上に向けた取り組みが組織的に行われている。

Ⅲ-2-(1)-①	サービス内容について定期的に評価を行う体制を整備している。	a
Ⅲ-2-(1)-②	評価の結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にしている。	b
Ⅲ-2-(1)-③	課題に対する改善策・改善計画を立て実施している。	c

Ⅲ-2-(2) 個々のサービスの標準的な実施方法が確立している。

Ⅲ-2-(2)-①	個々のサービスについて標準的な実施方法が文書化されサービスが提供されている。	b
Ⅲ-2-(2)-②	標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	b

Ⅲ-2-(3) サービス実施の記録が適切に行われている。

Ⅲ-2-(3)-①	利用者に関するサービス実施状況の記録が適切に行われている。	a
Ⅲ-2-(3)-②	利用者に関する記録の管理体制が確立している。	a
Ⅲ-2-(3)-③	利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	a

評価機関コメント

新任時にマニュアルを用いた園内研修で、サービス実施状況の記録が適切に行われるよう指導しています。子どもに関する情報や状況については、事務・調理・看護など部門を横断して共有化されています。

日頃から園長、主任、担任で会議をもち、保育の質の向上や改善に向けた取組が行われており、また、今回の第三者評価受審を機に職員を含めた自己評価が行われ、平成22年度末には検討会を開いて職員間での分析が行われています。しかしながら、自己評価や第三者評価等から明らかになった課題の文書化が十分ではなく、改善に向けた計画が策定されていません。今後は保育園全体での自己評価の結果明らかとなった課題を文書化し、改善に向けた計画を立て実施することが求められます。また、個々の保育場面における標準的な実施方法（保育マニュアル）が一部分のみの作成となっていますので、今後は保育場面全般における標準的な実施方法の文書化が望まれます。

Ⅲ-3 サービスの開始・継続

Ⅲ-3-(1) サービス提供の開始が適切に行われている。

Ⅲ-3-(1)-①	利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	a
Ⅲ-3-(1)-②	サービスの開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。	a

Ⅲ-3-(2) サービスの継続性に配慮した対応が行われている。

Ⅲ-3-(2)-①	事業所の変更や家庭への移行などにあたりサービスの継続性に配慮した対応を行っている。	a
-----------	---	---

評価機関コメント

利用希望者に対して、ホームページやDVDで園の紹介がされており、サービス選択に必要な情報が分かり易く提供されています。また、サービスの継続性についても入園のしおりに記載されており、利用希望者に対し配慮した工夫が伺えます。

Ⅲ-4 サービス実施計画の策定

Ⅲ-4-(1) 利用者のアセスメントが行われている。

Ⅲ-4-(1)-①	定められた手順に従ってアセスメントを行っている。	a
Ⅲ-4-(1)-②	利用者の課題を個別のサービス場面ごとに明示している。	a

Ⅲ-4-(2) 利用者に対するサービス実施計画が策定されている。

Ⅲ-4-(2)-①	サービス実施計画を適切に策定している。	a
Ⅲ-4-(2)-②	定期的にサービス実施計画の評価・見直しを行っている。	a

評価機関コメント

定期的にアセスメントの見直しが行われ、統一した様式で記録されています。また、部門を横断した関係職員の合議のもと、サービスの実施計画が策定されています。

児童福祉分野【保育所】のサービス内容基準(付加基準)

判 断 基 準 項 目		評価結果
A-1 子どもの発達援助		
1-(1) 発達援助の基本		
A-1-(1)-①	保育計画が、保育の基本方針に基づき、さらに地域の実態や保護者の意向等を考慮して作成されている。	a
A-1-(1)-②	指導計画の評価を定期的に行い、その結果に基づき、指導計画を改定している。	a
1-(2) 健康管理・食事		
A-1-(2)-①	登所時や保育中の子どもの健康管理は、マニュアルなどがあり子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している。	a
A-1-(2)-②	健康診断の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている。	a
A-1-(2)-③	歯科健診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている。	a
A-1-(2)-④	感染症発生時に対応できるマニュアルがあり、発生状況を保護者、全職員に通知している。	a
A-1-(2)-⑤	食事を楽しむことができる工夫をしている。	a
A-1-(2)-⑥	子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている。	a
A-1-(2)-⑦	子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している。	a
A-1-(2)-⑧	アレルギー疾患をもつ子どもに対し、専門医からの指示を得て、適切な対応を行っている。	a
1-(3) 保育環境		
A-1-(3)-①	子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	a
A-1-(3)-②	生活の場に相應しい環境とする取り組みを行っている。	a
1-(4) 保育内容		
A-1-(4)-①	子ども一人ひとりへの理解を深め、受容しようと努めている。	a
A-1-(4)-②	基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人ひとりの子どもの状況に応じて対応している。	a
A-1-(4)-③	子どもが自発的に活動できる環境が整備されている。	a
A-1-(4)-④	身近な自然や社会とかわかれるような取り組みがなされている。	a
A-1-(4)-⑤	さまざまな表現活動が自由に体験できるように配慮されている。	a
A-1-(4)-⑥	遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している。	a
A-1-(4)-⑦	子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てるよう配慮している。	a
A-1-(4)-⑧	性差への先入観による固定的な観念や役割分業意識を植え付けないよう配慮している。	a
A-1-(4)-⑨	乳児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	a
A-1-(4)-⑩	長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	a
A-1-(4)-⑪	障害児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	a

評価機関コメント

保育計画や指導計画は、保護者からの意向を取り入れながら法人の理念と整合させて立案されています。
 看護師による衛生面や健康面についての指導が保育士に行われており、子どもが心地よく過ごすことのできる環境整備に努めています。
 季節感を取り入れた絵画造形保育に力を入れており、保育士には新任時より研修が行われ、絵画造形を通じて子どもの何を育てようとしているのかを明確に理解した上で取り組まれていることが分かります。また、子どもの意見を取り入れながら自主性を培っています。

A-2 子育て支援

2-(1) 入所児童の保護者の育児支援

A-2-(1)-①	一人ひとりの保護者と日常的な情報交換に加え、個別面談などを行っている。	a
A-2-(1)-②	家庭の状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されている。	a
A-2-(1)-③	子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通理解を得るための機会を設けている。	a
A-2-(1)-④	虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努め、得られた情報が速やかに所長まで届く体制になっている。	a
A-2-(1)-⑤	虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について、児童相談所などの関係機関に照会、通告を行う体制が整っている。	a

2-(2) 一時保育

A-2-(2)-①	一時保育は、一人ひとりの子どもの心身の状態を考慮し、通常保育との関連を配慮しながら行っている。	a
-----------	---	---

評価機関コメント

園長自ら保護者の個別相談に応じ、子どもを含めた家庭支援に努めていることが伺えます。
 虐待に関する対応として、新任保育士から早期発見時の対応についての知識が習得されているなど、対応が徹底されています。
 一時保育の受け入れが積極的に行われており、一時保育の利用児は通常保育室において一緒に保育が行われています。また、必要なケースについては保護者と話し合う機会も設けています。

A-3 安全・事故防止

3-(1) 安全・事故防止

A-3-(1)-①	調理場、水周りなどの衛生管理は、マニュアルに基づいて適切に実施されている。	a
A-3-(1)-②	食中毒の発生時に対応できるマニュアルがあり、さらにその対応方法については、全職員にも周知されている。	a
A-3-(1)-③	事故防止のためのチェックリスト等があり、事故防止に向けた具体的な取組を行っている。	a
A-3-(1)-④	事故や災害の発生時に対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている。	a
A-3-(1)-⑤	不審者の侵入時などに対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている。	a

評価機関コメント

食事に関する安全面・衛生面に関しては、栄養士が中心となって部門管理が行われています。年度当初には職員会議で見直しと共に周知が行われています。
不審者侵入時の対応についてのマニュアルが職員に周知されており、対応内容については逐次、地元の警察に確認してもらっています。

A-4 子どもの発達・生活援助

4-(1) 子どもの発達・生活援助

A-4-(1)-①	体罰等子どもへの不適切な対応が行われないよう、防止と早期発見に取り組んでいる	b
-----------	--	---

評価機関コメント

体罰等の不適切な対応が行われないよう、保育士に対しては人事考課面接の際に聞き取り、実情把握に努めています。今後は体罰等の禁止について、就業規則や業務マニュアル、園内規則等に記載することが望まれます。

利用者(保護者)への聞き取り等の結果

調査の概要

調査対象者	いぶきの保育園を利用中の保護者
調査対象者数	148 世帯
調査方法	アンケート調査

利用者(保護者)への聞き取り等の結果(概要)

いぶきの保育園を現在利用している保護者148世帯を対象に調査を行いました。送迎の時間を利用して保育園から調査票を配布してもらい、回収は評価機関へ直接郵送する形をとり、67世帯から回答がありました。(回答率45.3%)

特に満足度の高い項目として
 「保育園に入園した際に、保育の内容や方法について、説明がありましたか」
 「入園後も、保育園やクラスの様子などについて「園だより」、「クラスだより」等を通じて、判りやすく伝えられていますか」
 「園内で感染症が発生した際には、その状況について必要に応じて連絡がありますか」
 「健康診断の結果について、園から伝えられていますか」
 「献立表やサンプル表示などで、毎日給食の内容がわかるようになっていきますか」
 「送迎時の保育士との話や連絡帳などを通じて、園や家庭での子どもの様子について情報交換がされていますか」
 「懇談会や保育参観など保護者が保育に参加する機会がありますか」
 が90%を超える満足度となっています。